

科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	FHD基礎演習A					
担当教員	崔 童殷・井上 裕之					
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数
授業のテーマ	ファッショング分野におけるアパレルの企画・設計・製作までの一連の過程を実践的に学ぶ。					
授業の概要	<p>FHD基礎演習A・Bでは、2クラスに分かれ、前・後期で一貫した内容を履修する。ファッショング領域では、デザイン・設計製作に関わる「モノのデザイン」、仕組みづくりに関わる「コトのデザイン」について捉え、ファッショングにおけるデザイン思考・設計製作・ビジュアルマーチャンダイジング(VMD)・販売・売上げまでの一連の過程を実践的に学ぶ。</p> <p>前期は、「モノのデザイン」について重点的に学び、ノベルティーパックのデザインと設計製作を行う。デザインでは、イメージを表現し、形にするプロセスを学び、特に、イメージしたテキスタイルの柄をデザインすることを目的にする。イメージしているテキスタイルの柄はIllustrator, Photoshopなどのデザインソフトを用いてデザインし、生地メディアでプリントしオリジナルのデザインを完成する。 設計製作では、デザインしたテキスタイルを用い、使い手(購入者)の年齢や性別、使用目的や使用感を考慮しつつ、デザインにそった設計や製作を試みる。さらに、企画書、アイテム画、素材、縫製事項、寸法を記した縫製仕様書、製作時間や材料費などのコストを算出した資料をA4ファイルにまとめ、後期授業の資料とする。</p>					
到達目標	<p>(1) アパレルの企画、設計、生産までのすべてのものの企画・製作工程が理解できる。</p> <p>(2) ノベルティーパックの柄のデザインができる。</p> <p>(3) ノベルティーパックの形を製作できる。</p>					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. モノづくりの考え方及び企画書づくり</li> <li>3. モノづくりのイメージネーション</li> <li>4. ノベルティーパックをデザインする</li> <li>5. テキスタイルデザインに挑戦</li> <li>6. Illustrator, Photoshopを使った柄のデザイン</li> <li>7. Illustrator, Photoshopを使った柄のデザイン</li> <li>8. デザイン加工及び生地メディアにプリント</li> <li>9. 縫製仕様書づくりと用具の使い方(ミシン、アイロン)</li> <li>10. ノベルティーパックの設計と型紙づくり</li> <li>11. 布の裁断、印しつけ</li> <li>12. 縫製①</li> <li>13. 縫製②</li> <li>14. 縫製③</li> <li>15. 資料づくり(A4ファイル) 及び前期のまとめ</li> </ol> <p>第1回は共同で、第2回～第8回は崔、第9回～第15回は井上が担当する。</p>					
授業外における学習(準備学習の内容)	授業後学習：次の授業までに課題を提出すること。					
授業方法	授業後学習：次の授業までに課題を提出すること。					
評価基準と評価方法	資料提出(50%)、作品提出(50%)で評価する。					
教科書	配布資料					
参考書						























参考書	
-----	--





科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	イメージリテラシーI（生活アート実習）					
担当教員	中村 博明					
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜4～5	配当学年	1	単位数 1.0
授業のテーマ	ものに対する想いを育む。					
授業の概要	デザインスキル能力向上の一部分として、ごく身近なファッショングやインテリア関連小物の制作を行なう。イメージやコンセプトを具体的な物として実現するプロセスに習熟すると同時に、実際に制作することを通して“もの”あるいは素材に対する想いを育むことを目的とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージをラフスケッチから図面、現物へと次第に具体化していく技術の習得</li> <li>・細部（ディテール）の重要さの理解</li> <li>・デザインの定石の習得</li> <li>・工作技術の習得</li> </ul>					
授業計画	<p>第1回：授業の内容・目標の説明。石ころや雑草をよく観察して細密な絵を描く。</p> <p>第2回：木と他素材（真鍮、アクリ等）を組合わせて作るペンダント等のデザインをする。</p> <p>第3回：ペンダントの制作（図面作成）</p> <p>第4回：ペンダントの制作（部品制作）</p> <p>第5回：ペンダントの制作（組み立て）</p> <p>第6回：ペンダントの制作（整形）</p> <p>第7回：ペンダントの制作（仕上げ）</p> <p>第8回：ケント紙と特殊塗装で作る小箱のデザインをする。</p> <p>第9回：小箱の製作（図面作成）</p> <p>第10回：小箱の製作（部品型紙作成）</p> <p>第11回：小箱の製作（部品制作）</p> <p>第12回：小箱の製作（組み立て）</p> <p>第13回：小箱の製作（整形）</p> <p>第14回：小箱の製作（塗装下地）</p> <p>第15回：小箱の製作（仕上げ）</p>					
授業外における学習（準備学習の内容）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感動する気持ちを持って、身のまわりのあらゆる物をよく見る。</li> <li>・自分の気に入ったものを自主的にスケッチやデッサンし、手がデザインの道具になるよう練習しておく。</li> </ul>					
授業方法	実習					
評価基準と評価方法	各課題作品の評価：70%、制作態度：30% 欠席は減点対象とする。					
教科書	プリントを配布します。					
参考書						









評価基準と評価方法	平常の小課題と最終課題作品の成績に出席状況・受講態度等の平常点を加味し、総合的に評価する。 (評価比率：小課題30%、最終課題作品40%、平常点30%)
教科書	プリントを配布する。
参考書	「インテリア・スケッチ Super トーク」(長谷川矩祥著、グラフィック社) その他推薦する本を授業中に紹介するので、各自参考にする本、住宅雑誌等を購入すること。





参考書	
-----	--













科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	家族社会学					
担当教員	奥井 一幾					
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数 2.0
授業のテーマ	家族について社会学的な視点から考察する					
授業の概要	家族について、その成り立つや時代とともに移り変わってきた価値観や形態の変化について知る。また、現代の家族観や生活様式がどのように形成されてきたかを知る。一人の人間が誕生し、生涯を終えるまでの過程を学び、家族を総合的に捉える視点を養う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の成り立ちや現状について理解している</li> <li>・個人のライフコースや家族を取り巻く諸課題が説明できる</li> <li>・家族が抱える諸課題に対して、自分なりの解決策を考え提示することができる。</li> </ul>					
授業計画	第1回 ガイダンス（シラバス確認 導入課題） 第2回 家族の出発 第3回 家族の定義 第4回 家族の歴史 第5回 子どもと家族 第6回 パートナー選択と価値観 第7回 結婚と離婚の現状 第8回 結婚と生活経営 第9回 生活時間とライフコース 第10回 ジェンダーと家族 第11回 芸術作品に描かれる家族 第12回 子どもと女性の貧困 第13回 高齢期の生活と家族 第14回 いのちと家族 第15回 試験と質疑応答					
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前：家族について普段から関心をもつこと。 授業後：授業で学んだ内容を復習し、理解不足の点を補いながら、関連事項について十分に復習を行うこと。					
授業方法	講義形式。必要に応じて演習を取り入れる。					
評価基準と評価方法	試験(40%)、ワークシート記入状況、受講態度などの平常点(60%)により総合的に評価する。					
教科書	授業毎に資料を配布する。					
参考書						







評価基準と評価方法	おおむね提出物で採点し、授業への参加の積極性を加味することもあります。 シラバス内クイズ、「2回国境を越えないと海に出られない国はどこでしょう」。なぜこんなところでクイズをしているのかな。
教科書	
参考書	授業中に紹介します。新書などでつよく勧めるものがあります。

科目区分	ファッション・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	建築一般構造					
担当教員	中村 博明					
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数 2.0
授業のテーマ	建築のハード面の概要					
授業の概要	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造について概論的に学習する。 構造物の強さ、弱さ、変形の仕方等が実感できるよう実験を通して学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造についての概論的な知識の習得</li> <li>・構造的センスの習得</li> <li>・構造力学の基礎知識の習得</li> </ul>					
授業計画	第1回：授業の説明 構造を考える意味（導入）…薄い紙で強い柱を作るコンクール 第2回：構造力学の基礎の基礎（1）曲げモーメント 第3回：構造力学の基礎の基礎（2）ピン接合と剛接合 第4回：鉄筋コンクリート造（1）構造原理 第5回：鉄筋コンクリート造（2）構造形式 第6回：鉄筋コンクリート造（3）鉄筋とコンクリート 第7回：鉄筋コンクリート造（4）配筋のしくみ 第8回：鉄筋コンクリート造（5）梁と柱の配筋 第9回：鉄骨造（1）構造形式、鋼材 第10回：鉄骨造（2）鉄骨造の実際 第11回：木造（1）構造形式、木材 第12回：木造（2）基礎 第13回：木造（3）軸組 第14回：木造（4）小屋組、床組 第15回：全体のまとめ 及び 期末試験					
授業外における学習（準備学習の内容）	授業毎に復習を必ずする。 学習した事と、実際に近辺にある建築の部分とを照らし合わせて確認する努力をする。					
授業方法	講義					
評価基準と評価方法	平常点：30%、小テスト：20%、期末試験：50% 欠席は減点対象とする。					
教科書	レジュメ配布					
参考書						





教科書	
参考書	授業中に紹介する。







科目区分	ファッション・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	室内環境論					
担当教員	井上 晋一					
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	3	単位数 2.0
授業のテーマ	室内環境の成り立ちと環境調整のための技術					
授業の概要	建物は、構造的に安全であること、美しいことに加え、その中で人が快適に暮らすことが必要です。室内環境は光・熱・空気・音といった物理的因素から成り立っており、私たちは日々これらから影響を受け生活しています。これらの環境要素が室内においてどのような現象として現れ、それが人の健康にどのように影響しているか、これらをどうコントロールすればより快適な環境が得られるか、また、環境調整の技術をどのように設計に組み込んでいくかを学びます。					
到達目標	学生自身の生活環境を材料に、採光や照明、空気や熱、湿気の振る舞い、騒音や遮音について、基本的事項の理解と現状の分析、改善、環境設計の考え方を身につけることを目標にします。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 室内環境の要素とその単位</li> <li>2. 音の基礎知識</li> <li>3. 建物の音響性能</li> <li>4. 空気の質と流れ</li> <li>5. 通風と換気</li> <li>6. 熱の伝わり方</li> <li>7. 体感温度</li> <li>8. 外界気象</li> <li>9. 日照環境</li> <li>10. 建物の熱性能</li> <li>11. 熱還流率の計算</li> <li>12. 湿気と結露</li> <li>13. 人の視覚と光・色</li> <li>14. 照明の方法</li> <li>15. まとめとレポート講評</li> </ol>					
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：次回の授業内容に対応する事項（例えば自室の照明、日当たり、騒音、湿気の害など）について現状を観察する。</p> <p>授業後学習：基本的事項についての確認レポートまたは課題に取り組むことで理解を深める。</p>					
授業方法	講義					
評価基準と評価方法	試験40%、課題レポート30%，平常点30%で評価。					
教科書	『設計のための建築環境学』日本建築学会編、彰国社 ISBN978-4-395-00894-0					
参考書						





















教科書	
参考書	

科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	卒業研究／Graduation Thesis					
担当教員	崔 童殷					
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜3	配当学年	4	単位数
授業のテーマ	興味あるテーマを見つけ楽しく「研究」しよう。					
授業の概要	ファッショングの専門領域では、大きくファッショングデザイン系（モノつくり及びデザイン）、ファッショングイメージ系（流行及び消費者購買パターン分析）、ファッショングビジネス系（企画及び生産）などその範囲が非常に広く研究されています。この授業では、ファッショングデザイン系（モノつくり及びデザイン）の領域を中心興味がある内容で研究を行うように指導します。疑問を持った内容をテーマに文献を調べたり、インタビューを行ったり調査を行うなど理論的に論じる力を身につけると共に、4年間学んだ様々な教育内容及びモノつくりのスキルを生かし、作品制作の完成・発表できるように指導を行います。					
到達目標	卒業作品制作や論文をまとめることができる。					
授業計画	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーションでは研究方針と進め方について説明</li> <li>2. 研究の全体の流れを考える           <ul style="list-style-type: none"> <li>①論文（研究計画書）</li> <li>②制作（作品およびポートフォリオ制作計画案）</li> </ul> </li> <li>3. 研究テーマ（論文テーマと制作テーマ）やキーワードまとめの話し合い</li> <li>4. 研究の背景や目的のまとめ</li> <li>5. 研究関連文献調査のまとめ</li> <li>6. 研究Ⅰ－論文（文献、論文、研究関連情報収集①） 制作（作品制作①）</li> <li>7. 研究Ⅱ－論文（文献、論文、研究関連情報収集②） 制作（作品制作②）</li> <li>8. 研究Ⅲ－論文（調査①） 制作（作品制作③）</li> <li>9. 研究Ⅳ－論文（調査②） 制作（作品制作④）</li> <li>10. 研究Ⅴ－論文（調査③） 制作（作品制作⑤）</li> <li>11. 研究VI－論文（調査結果まとめ①） 制作（作品制作⑥）</li> <li>12. 研究VII－論文（調査結果まとめ②） 制作（作品制作⑦）</li> <li>13. 研究VIII－論文（分析結果の考察） 制作（作品制作⑧）</li> <li>14. 中間発表のプレゼンテーション準備</li> <li>15. 中間発表</li> </ol> <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>16. 中間発表の評価の討論および研究のまとめ方</li> <li>17. 研究－論文（研究成果物のまとめ①） 制作（作品およびポートフォリオ制作のまとめ方の説明）</li> <li>18. 研究－論文（研究成果物のまとめ②） 制作（作品およびポートフォリオ制作のまとめ②）</li> <li>19. 研究－論文（研究成果物のまとめ③） 制作（作品およびポートフォリオ制作のまとめ③）</li> <li>20. 研究－論文（研究成果物のまとめ④） 制作（作品制作完成①）</li> <li>21. 研究－論文（研究成果物のまとめ⑤） 制作（作品制作完成②）</li> <li>22. 研究－論文（研究成果物のまとめ） 制作（作品制作完成③）</li> <li>23. 研究－論文（研究成果物の考察①） 制作（作品成果物の考察①）</li> <li>24. 研究－論文（研究成果物の考察②） 制作（作品成果物の考察②）</li> <li>25. 卒業研究概要の書き方</li> <li>26. 卒業研究成果のポスター制作指導</li> <li>27. 卒業研究成果のポスター制作</li> <li>28. 卒業研究発表指導</li> <li>29. 卒業研究発表練習</li> <li>30. 卒業研究発表評価</li> </ol>					

授業計画	
授業外における学習（準備学習の内容）	4年間習ったすべてのテクニックを利用できることや決まった研究内容に関する文献調査を常に行いまとめること
授業方法	演習形式（個人指導も含む） プレゼンテーション、授業における貢献度、卒業作品制作過程における中間評価、最後の提出物の内容 各自のテーマに基づいて研究を進めるので、研究プロセスのスケジュールなどは責任をもって管理すること。
評価基準と評価方法	制作：衣装の制作、ポートフォリオ制作、研究レポート作成、A1パネル2枚制作 論文：論文作成、A1パネル2枚制作 これらの成果物を展示会や発表会でプレゼンテーションしてもらい評価する。 出席50%、成果物30%、発表20%で評価を行う。
教科書	個人研究内容の指導で知らせます。
参考書	個人研究内容の指導で知らせます。



参考書	そのつど紹介する。
-----	-----------









教科書	プリント配布
参考書	適宜紹介

科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目																																																									
科目名	卒業研究／Graduation Thesis																																																									
担当教員	米原 慶子																																																									
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜2	配当学年	4	単位数																																																				
授業のテーマ	ハウジングデザイン領域の建築設計、インテリアデザイン等の卒業制作																																																									
授業の概要	<p>デザイン特別演習を通じ、各自が考えた住空間デザインへの問題提起をテーマとし、提案的な卒業研究／制作に取り組む。</p> <p>ゼミ形式で、各自のテーマに応じて必要な調査を行ない、随時発表・討論を行ないながら制作をすすめ、様々な住空間の計画・設計、インテリアデザイン等の作品にまとめる。</p> <p>またそのプロセスについては、制作ノートにまとめる。</p> <p>図面、模型、スライド等に表現し、プレゼンテーションを行なう。</p> <p>キーワード：住空間、卒業制作、プレゼンテーション</p>																																																									
到達目標	<p>各自興味のあるテーマについての理解、問題意識を深め、独自の有意義な提案ができるようになる。</p> <p>表現力を高めながら、まとめた建築設計またはインテリアデザイン作品に仕上げ、トータルなプレゼンテーションができるようになる。</p>																																																									
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>第1回</td><td>ガイダンス、第1段階 「卒業制作のテーマに関する基礎研究」 敷地設定、参考作品など資料の収集と前提条件の整理</td></tr> <tr> <td>第2回</td><td>第1段階 敷地図、既存図の作成、 参考作品研究（図面トレース、スタディ模型制作等）、ヒアリング等</td></tr> <tr> <td>第3回</td><td>第1段階 参考作品、ヒアリング結果等の分析</td></tr> <tr> <td>第4回</td><td>第1段階 基礎研究のまとめ</td></tr> <tr> <td>第5回</td><td>第1段階 基礎研究の発表用パワーポイントの作成</td></tr> <tr> <td>第6回</td><td>第1段階 基礎研究の発表、第2段階の準備</td></tr> <tr> <td>第7回</td><td>第2段階 「基本計画」 エスキース</td></tr> <tr> <td>第8回</td><td>第2段階 エスキースチェック、修正</td></tr> <tr> <td>第9回</td><td>第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成</td></tr> <tr> <td>第10回</td><td>第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成</td></tr> <tr> <td>第11回</td><td>第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成</td></tr> <tr> <td>第12回</td><td>第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成</td></tr> <tr> <td>第13回</td><td>第2段階 まとめ、中間発表用パワーポイントの制作</td></tr> <tr> <td>第14回</td><td>第2段階 パワーポイントのチェック、修正</td></tr> <tr> <td>第15回</td><td>第2段階 中間発表と講評、夏休みの宿題計画</td></tr> <tr> <td>第16回</td><td>第3段階 夏休みの宿題のまとめ、第3段階の計画</td></tr> <tr> <td>第17回</td><td>第3段階 夏休みの宿題発表、第3段階「詳細設計」準備</td></tr> <tr> <td>第18回</td><td>第3段階 詳細図、パース、模型などの制作</td></tr> <tr> <td>第19回</td><td>第3段階 詳細図、パース、模型などの制作</td></tr> <tr> <td>第20回</td><td>第3段階のまとめ、中間発表用プレゼンテーションボードの制作</td></tr> <tr> <td>第21回</td><td>第3段階 中間発表、講評。追加修正事項の指導</td></tr> <tr> <td>第22回</td><td>最終段階 追加修正図面の作成</td></tr> <tr> <td>第23回</td><td>最終段階 プrezentationボードの制作</td></tr> <tr> <td>第24回</td><td>最終段階 プrezentationボードの制作</td></tr> <tr> <td>第25回</td><td>最終段階 プrezentationボードのチェック</td></tr> <tr> <td>第26回</td><td>最終段階 制作ノートの整理、まとめ</td></tr> </table>						第1回	ガイダンス、第1段階 「卒業制作のテーマに関する基礎研究」 敷地設定、参考作品など資料の収集と前提条件の整理	第2回	第1段階 敷地図、既存図の作成、 参考作品研究（図面トレース、スタディ模型制作等）、ヒアリング等	第3回	第1段階 参考作品、ヒアリング結果等の分析	第4回	第1段階 基礎研究のまとめ	第5回	第1段階 基礎研究の発表用パワーポイントの作成	第6回	第1段階 基礎研究の発表、第2段階の準備	第7回	第2段階 「基本計画」 エスキース	第8回	第2段階 エスキースチェック、修正	第9回	第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成	第10回	第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成	第11回	第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成	第12回	第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成	第13回	第2段階 まとめ、中間発表用パワーポイントの制作	第14回	第2段階 パワーポイントのチェック、修正	第15回	第2段階 中間発表と講評、夏休みの宿題計画	第16回	第3段階 夏休みの宿題のまとめ、第3段階の計画	第17回	第3段階 夏休みの宿題発表、第3段階「詳細設計」準備	第18回	第3段階 詳細図、パース、模型などの制作	第19回	第3段階 詳細図、パース、模型などの制作	第20回	第3段階のまとめ、中間発表用プレゼンテーションボードの制作	第21回	第3段階 中間発表、講評。追加修正事項の指導	第22回	最終段階 追加修正図面の作成	第23回	最終段階 プrezentationボードの制作	第24回	最終段階 プrezentationボードの制作	第25回	最終段階 プrezentationボードのチェック	第26回	最終段階 制作ノートの整理、まとめ
第1回	ガイダンス、第1段階 「卒業制作のテーマに関する基礎研究」 敷地設定、参考作品など資料の収集と前提条件の整理																																																									
第2回	第1段階 敷地図、既存図の作成、 参考作品研究（図面トレース、スタディ模型制作等）、ヒアリング等																																																									
第3回	第1段階 参考作品、ヒアリング結果等の分析																																																									
第4回	第1段階 基礎研究のまとめ																																																									
第5回	第1段階 基礎研究の発表用パワーポイントの作成																																																									
第6回	第1段階 基礎研究の発表、第2段階の準備																																																									
第7回	第2段階 「基本計画」 エスキース																																																									
第8回	第2段階 エスキースチェック、修正																																																									
第9回	第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成																																																									
第10回	第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成																																																									
第11回	第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成																																																									
第12回	第2段階 基本計画図、スタディ模型など作成																																																									
第13回	第2段階 まとめ、中間発表用パワーポイントの制作																																																									
第14回	第2段階 パワーポイントのチェック、修正																																																									
第15回	第2段階 中間発表と講評、夏休みの宿題計画																																																									
第16回	第3段階 夏休みの宿題のまとめ、第3段階の計画																																																									
第17回	第3段階 夏休みの宿題発表、第3段階「詳細設計」準備																																																									
第18回	第3段階 詳細図、パース、模型などの制作																																																									
第19回	第3段階 詳細図、パース、模型などの制作																																																									
第20回	第3段階のまとめ、中間発表用プレゼンテーションボードの制作																																																									
第21回	第3段階 中間発表、講評。追加修正事項の指導																																																									
第22回	最終段階 追加修正図面の作成																																																									
第23回	最終段階 プrezentationボードの制作																																																									
第24回	最終段階 プrezentationボードの制作																																																									
第25回	最終段階 プrezentationボードのチェック																																																									
第26回	最終段階 制作ノートの整理、まとめ																																																									

授業計画	第27回 最終段階 プレゼンテーションボード、制作ノートのプリントアウト、学科提出 第28回 最終段階 プレゼンテーションボード、制作ノートのチェック、修正 第29回 最終段階 プレゼンテーションボード、制作ノートの完成、最終提出。概要集用原稿の作成 第30回 最終段階 発表用パワーポイント、原稿の作成
授業外における学習（準備学習の内容）	興味のあるテーマについて、各自で文献検索、資料収集につとめ、学習を深めること。 テーマ関連の建築や展覧会等の見学を積極的に行うのが望ましい。
授業方法	ハウジングデザイン領域の卒業作品制作を中心としたゼミナール。
評価基準と評価方法	評価比率は、最終作品の評価50%、中間段階の提出物20%、平常点30%とする。
教科書	
参考書	各自のテーマに応じて紹介する。



科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	テキスタイルデザイン演習I（基礎）／テキスタイルデザイン演習					
担当教員	崔 童殷					
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数 2.0
授業のテーマ	テキスタイルデザインに挑戦する					
授業の概要	テキスタイルをデザイン・生産するための基本知識習得を目的として衣服の素材であるテキスタイルの構造、性質、組織、生産、染色、加工技法などの特徴を知るとともにさまざまな民族に伝わる独自の染色・加工方法などを紹介及び理解する。これらの基礎知識に基づいてステンシル技法、刺繡技法などを習得し、学生オリジナルのプリント柄や織物のデザインを目指す。					
到達目標	テキスタイルに関する基礎知識を身につける。 テキスタイル生産工程を理解できる。 天然染料、染色技法を学ぶ。 ステンシルや刺繡技法を学べる。 オリジナルテキスタイルデザイン作品が制作できる。					
授業計画	1. オリエンテーションおよび授業の全体の流れを説明する 2. ファッション製品の素材（天然素材、合成素材） 3. 繊維からファッショング製品になるまで 4. 糸、布をデザインすることとは？ 5. テキスタイル製品の生産工程の理解 6. ニット製品の生産工程の理解 7. 染色技法について - 天然染料と化学染料について 8. 型紙染め（シルクスクリーン、ステンシル）-① 9. 型紙染め（シルクスクリーン、ステンシル）-② 10. 型紙染め（シルクスクリーン、ステンシル）-③ 11. 刺繡の技法 - ① 12. 刺繡の技法 - ② 13. 刺繡の技法 - ③ 14. 作品制作 15. 作品発表					
授業外における学習（準備学習の内容）	Photoshop やIllustratorを併行して授業を進めるのでデザインソフトを使用できること					
授業方法	配布プリント、スライドの内容にそって実習する。					
評価基準と評価方法	作品提出（50%）およびレポート（20%）、作品発表（30%）					
教科書	特になし。配布資料					
参考書						

科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	テキスタイルデザイン演習II (CAD) / ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
担当教員	崔 童殷					
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3	単位数 2.0
授業のテーマ	テキスタイルデザインに挑戦する					
授業の概要	テキスタイルをデザイン・生産するための基本知識習得を目的として衣服の素材であるテキスタイルの構造、性質、組織、生産、染色、加工技法などの特徴を知るとともにさまざまな民族に伝わる独自の染色・加工方法などを紹介及び理解する。これらの基礎知識に基づいて学生オリジナルのプリント柄や織物のデザインをテキスタイル専門CADソフトを用いて作品制作する。					
到達目標	テキスタイルに関する基礎や天然染色技法などを身につけるとともに、専門のテキスタイルデザインソフト4Dboxを用いたプリントデザイン、先染めデザイン、ニットデザインをマスターすることを目指す。					
授業計画	1. オリエンテーションおよび授業の全体の流れを説明する 2. テキスタイルCAD(4Dbox)の基礎を学ぶ - ① 3. テキスタイルCAD(4Dbox)の基礎を学ぶ - ② 4. テキスタイルCAD-糸のデザイン - ① 5. テキスタイルCAD-糸のデザイン - ② 6. テキスタイルCAD-先染め（ストライプ、ボーダー、チェック柄） - ① 7. テキスタイルCAD-先染め（ストライプ、ボーダー、チェック柄） - ② 8. テキスタイルCAD-プリント（花柄、ジャカード柄デザイン） - ① 9. テキスタイルCAD-プリント（花柄、ジャカード柄デザイン） - ② 10. テキスタイルCAD-ニットデザイン - ① 11. テキスタイルCAD-ニットデザイン - ② 12. テキスタイル柄の3Dマッピング 13. 作品制作 14. 作品発表					
授業外における学習（準備学習の内容）	Photoshop やIllustratorを併行して授業を進めるのでデザインソフトを使用できること					
授業方法	配布プリント、スライドの内容にそって実習する。					
評価基準と評価方法	作品提出 (50%) およびレポート (20%) 、作品発表 (30%)					
教科書	特になし。					
参考書						







科目区分	ファッション・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	デザイン特別演習A					
担当教員	崔 童殷					
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	3	単位数 2.0
授業のテーマ	「興味あるもの」を見つける					
授業の概要	ファッションデザイン実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで培ったスキルを応用し、作品を制作する。初めに、これまで学んできたイメージ、歴史、身体、文化に関する知識を基に、各自の興味に沿ったコンセプトの設定、衣服のデザイン、素材、ボリュームのプランニングを提示する。その際、ファッションプレゼンテーション演習Ⅱと合わせて、企画、制作、発表という一連の流れを意識し、卒業研究・制作を視野に入れることができることが望ましい。次に、デザインした衣服の中から最もコンセプトを表現できる一体を選択、制作させる。					
到達目標	自分が興味があるものを見つけ、研究としてどう探っていくのかを学ぶことができる。					
授業計画	1. オリエンテーションおよび授業の全体流れの説明 2. 研究とは 3. 研究方法を学ぶ 4. 研究資料（文献、書籍、論文など）を調べる 5. 研究資料の分析および結果のまとめ方法 6. 研究テーマを決める （興味のある分野、キーワードなどをまとめ、研究テーマを決める） 7. 研究の目的を探り、研究計画を立てる 8. 研究、調査方法を考える 9. 研究資料（文献）調査-① 10. 研究資料（文献）調査-② 11. 研究資料の分析 - ① 12. 研究資料の分析 - ② 13. 調査・分析結果のまとめ - ① 14. 調査・分析結果のまとめ - ② 15. 成果物の発表					
授業外における学習（準備学習の内容）	文献調べができるように図書館などで様々な文献を調べる学習					
授業方法	配布プリント、スライドの内容にそって実習する。					
評価基準と評価方法	レポート（40%－2回）、発表（60%－2回）を加味する。					
教科書	配布プリントを参考すること。					
参考書						





教科書	新書を2冊ほど選定します（講義が始まってから）。
参考書	授業中にたくさん紹介します。







参考書	授業中に紹介する。
-----	-----------





科目区分	ファッション・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	デザイン特別演習B／デザイン特別演習					
担当教員	徳山 孝子					
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数 2.0
授業のテーマ	卒業研究の先行研究をまとめる。					
授業の概要	3年前期までに学んだ知識を基礎に、研究テーマを考え、論文の読み解く力を養う。文化的なアプローチとしては、生活文化領域を中心に生活に身近なモノのデザインをテーマに、人間の精神的あるいは知的行為がどのように介在しているかを資料・文献収集、図像学的分析によって明らかにする。また、科学的なアプローチとしては、感性デザイン領域を中心に色や形をテーマとして、それらに対する心の動きを官能検査や統計解析によって科学的に解明する。さらに、学んだ知識をもとに、これらの卒業研究から、ヒトの心がどのようにモノのデザインに作用しているかを理解する。					
到達目標	1) 研究テーマを決めることができる 2) 先行研究を説明することができる 3) 研究方法を列挙することができる。 4) 研究テーマに基づき目次を作成することができる。 5) 研究内容を発表することができる。					
授業計画	1. オリエンテーション（課題テーマ、方針・進め方の説明） 2. テーマと研究方法の説明 3. 各自の先行研究について発表Ⅰ 4. 各自の先行研究について発表Ⅱ 5. 各自の先行研究について発表Ⅲ 6. 各自の研究方法について指導Ⅰ 7. 各自の研究方法について指導Ⅱ 8. 各自の研究方法について指導Ⅲ 9. 各自の研究方法について指導Ⅳ 10. 各自の発表について指導Ⅰ 11. 各自の発表について指導Ⅱ 12. 各自の発表について指導Ⅲ 13. 各自の発表について指導Ⅳ 14. 発表のプレゼンテーションⅠ 15. 発表のプレゼンテーションⅡ					
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習は、授業内で説明する。 授業後学習は、学んだ内容を整理し、要点をまとめる。理解できなかった内容は、次の授業で質問する。授業中にできなかった課題は完成させる。					
授業方法	プリントを配布する。そのプリントに添って演習する中で、画像を使って確認をしながら進める。					
評価基準と評価方法	発表50%、提出物50%					
教科書	教科書としては、特に用いないが、プリントなどを使用する。					
参考書	演習中に紹介。					



授業方法	「授業のテーマ」で述べたとおりの演習です。
評価基準と評価方法	火なりの部分を提出物で採点し、授業への参加の積極性を加味することもあります。火なりの部分というのは6割から8割といふといったような意味です。
教科書	新書を2冊ほど選定します（講義が始まってから）。
参考書	授業中にたくさん紹介します。





科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目																																			
科目名	デザイン特別演習B／デザイン特別演習																																			
担当教員	米原 慶子																																			
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数 2.0																														
授業のテーマ	卒業研究／制作につながる基礎研究とテーマ設定																																			
授業の概要	<p>デザイン特別演習Aに引き続き、住空間のデザインについてこれまでの学びを振り返り、各自興味のあるテーマについて、学びを深める。</p> <p>近現代の建築家やデザイナーの作品を社会的、文化・芸術的視点から読み解き、またコンペや学外イベントなど様々なプロジェクトに参加したり、身近な地域に着目しながら問題意識を深めていく。</p> <p>関連する作品集や著書等を読み、また可能な限り見学して、思想や手法を学び、パワーポイントにまとめる。またポートフォリオや小課題の制作により、表現力を高める。</p> <p>発表、デヨスカッションを積み重ね、最終的に住空間デザインへの問題提起につなげ、卒業研究／制作のテーマ設定を行なっていく。</p> <p>キーワード：住空間、問題意識、テーマ設定</p>																																			
到達目標	<p>各自興味のあるテーマについて、理解や問題意識を深め、卒業研究／制作のテーマを設定することができる。</p> <p>ポートフォリオ制作、パワーポイントによるプレゼンテーション等を通して、表現力を高め、より適切な図面表現ができるようになる。</p>																																			
授業計画	<table border="0"> <tr><td>第1回</td><td>ガイダンス、卒業制作のテーマ設定について、ポートフォリオの作り方</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>第1課題 ポートフォリオの追加、再構成</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>第2課題 デザイナー／テーマ研究 課題説明</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>第2課題 参考資料検索、質疑応答</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>第1課題 ポートフォリオ（再構成）の提出、チェック、追加修正の指示</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>第2課題 参考作品資料の作成</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>第2課題 中間発表と討論、第3課題（小課題）について説明</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>第1課題 ポートフォリオ（再構成）の仕上げ、提出</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>第3課題 小課題の制作</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>卒業制作のテーマ設定 中間発表と討論</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>第3課題 小課題の制作、卒業制作のテーマについて 個別相談</td></tr> <tr><td>第12回</td><td>第3課題 小課題の制作、卒業制作のテーマについて 個別相談</td></tr> <tr><td>第13回</td><td>卒業制作のテーマについて 発表用パワーポイントの制作</td></tr> <tr><td>第14回</td><td>パワーポイントによる発表（ゼミ内）、講評</td></tr> <tr><td>第15回</td><td>パワーポイントの追加、修正</td></tr> </table>						第1回	ガイダンス、卒業制作のテーマ設定について、ポートフォリオの作り方	第2回	第1課題 ポートフォリオの追加、再構成	第3回	第2課題 デザイナー／テーマ研究 課題説明	第4回	第2課題 参考資料検索、質疑応答	第5回	第1課題 ポートフォリオ（再構成）の提出、チェック、追加修正の指示	第6回	第2課題 参考作品資料の作成	第7回	第2課題 中間発表と討論、第3課題（小課題）について説明	第8回	第1課題 ポートフォリオ（再構成）の仕上げ、提出	第9回	第3課題 小課題の制作	第10回	卒業制作のテーマ設定 中間発表と討論	第11回	第3課題 小課題の制作、卒業制作のテーマについて 個別相談	第12回	第3課題 小課題の制作、卒業制作のテーマについて 個別相談	第13回	卒業制作のテーマについて 発表用パワーポイントの制作	第14回	パワーポイントによる発表（ゼミ内）、講評	第15回	パワーポイントの追加、修正
第1回	ガイダンス、卒業制作のテーマ設定について、ポートフォリオの作り方																																			
第2回	第1課題 ポートフォリオの追加、再構成																																			
第3回	第2課題 デザイナー／テーマ研究 課題説明																																			
第4回	第2課題 参考資料検索、質疑応答																																			
第5回	第1課題 ポートフォリオ（再構成）の提出、チェック、追加修正の指示																																			
第6回	第2課題 参考作品資料の作成																																			
第7回	第2課題 中間発表と討論、第3課題（小課題）について説明																																			
第8回	第1課題 ポートフォリオ（再構成）の仕上げ、提出																																			
第9回	第3課題 小課題の制作																																			
第10回	卒業制作のテーマ設定 中間発表と討論																																			
第11回	第3課題 小課題の制作、卒業制作のテーマについて 個別相談																																			
第12回	第3課題 小課題の制作、卒業制作のテーマについて 個別相談																																			
第13回	卒業制作のテーマについて 発表用パワーポイントの制作																																			
第14回	パワーポイントによる発表（ゼミ内）、講評																																			
第15回	パワーポイントの追加、修正																																			
授業外における学習（準備学習の内容）	興味のあるテーマについて、各自で文献検索、資料収集につとめ、学習を深めること。 テーマ関連の建築や展覧会等の見学を積極的に行なうのが望ましい。																																			
授業方法	演習および実習（CADも使用）																																			
評価基準と評価方法	平常の小課題と最終課題作品の成績に出席状況・受講態度等の平常点を加味し、総合的に評価する。 (評価比率：第1課題20%、第2課題30%、第3課題20%、平常点30%)																																			
教科書	プリントを配布する。																																			

参考書	授業中に紹介する。
-----	-----------



科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目																																			
科目名	デジタルデザイン実習																																			
担当教員	坂田 岳彦																																			
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜4～5	配当学年	3	単位数 1.0																														
授業のテーマ	美しいウェブデザインを制作する																																			
授業の概要	<p>ウェブデザイン制作ソフト「Adobe Dreamweaver」を使用して、ウェブデザインの基本を習得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Dreamweaverの基本操作の習得</li> <li>・Adobe Illustratorを使ったデザイン制作とウェブページのための適切な画像変換</li> <li>・Adobe Photoshopを使った画像処理とウェブページのための適切な画像変換</li> <li>・情報の整理とわかりやすい情報伝達の考察</li> <li>・ウェブページの効率的な編集方法</li> <li>・ユーザビリティとアクセシビリティに配慮したレイアウトデザイン</li> </ul>																																			
到達目標	HTMLとCSSを理解し、美しく、また分かりやすいウェブデザインが制作できる。																																			
授業計画	<table border="0"> <tr><td>第1回</td><td>ガイダンス</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>HTMLの基本、文字入力と文字設定、リンク設定</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>GIFファイルとJPEGファイルの作成、リンクボタンの作成</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>ページのレイアウト、別ウィンドウの作成</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>ロールオーバーイメージの作成、サイトの再構築</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>課題1：デザイン計画と文字入力</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>課題1：色彩計画と画像処理</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>課題1：レイアウト処理、講評</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>HTMLとCSSの作成</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>ページの編集</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>課題2：デザイン計画と文字入力</td></tr> <tr><td>第12回</td><td>課題2：色彩計画と画像処理</td></tr> <tr><td>第13回</td><td>課題2：レイアウト処理</td></tr> <tr><td>第14回</td><td>課題2：ページの編集</td></tr> <tr><td>第15回</td><td>講評</td></tr> </table>						第1回	ガイダンス	第2回	HTMLの基本、文字入力と文字設定、リンク設定	第3回	GIFファイルとJPEGファイルの作成、リンクボタンの作成	第4回	ページのレイアウト、別ウィンドウの作成	第5回	ロールオーバーイメージの作成、サイトの再構築	第6回	課題1：デザイン計画と文字入力	第7回	課題1：色彩計画と画像処理	第8回	課題1：レイアウト処理、講評	第9回	HTMLとCSSの作成	第10回	ページの編集	第11回	課題2：デザイン計画と文字入力	第12回	課題2：色彩計画と画像処理	第13回	課題2：レイアウト処理	第14回	課題2：ページの編集	第15回	講評
第1回	ガイダンス																																			
第2回	HTMLの基本、文字入力と文字設定、リンク設定																																			
第3回	GIFファイルとJPEGファイルの作成、リンクボタンの作成																																			
第4回	ページのレイアウト、別ウィンドウの作成																																			
第5回	ロールオーバーイメージの作成、サイトの再構築																																			
第6回	課題1：デザイン計画と文字入力																																			
第7回	課題1：色彩計画と画像処理																																			
第8回	課題1：レイアウト処理、講評																																			
第9回	HTMLとCSSの作成																																			
第10回	ページの編集																																			
第11回	課題2：デザイン計画と文字入力																																			
第12回	課題2：色彩計画と画像処理																																			
第13回	課題2：レイアウト処理																																			
第14回	課題2：ページの編集																																			
第15回	講評																																			
授業外における学習（準備学習の内容）	普段から目に留まるウェブサイトを注意深く観察し、どのような表現上の工夫が見られるかを読み取るように努力してください。																																			
授業方法	実習																																			
評価基準と評価方法	平常点50% 提出物50% 欠席した場合は減点																																			
教科書																																				
参考書	授業中に紹介します。																																			



















教科書	図解 インテリア設計の実際 第1版 著者：小宮 容一 出版社：株式会社オーム社 ISBN: 4-274-10095-2  その他、プリントを配布。
参考書	インテリアデザイン・コース－インテリアデザインの基本から実践まで 著者：トムリス タンガズ 出版社：グラフィック社 ISBN-10: 4766117557  コンパクト建築設計資料集成「住居」 (日本建築学会編、丸善第2版)  その他、授業中に紹介する。















教科書	特にありませんが、各授業で参考となる資料を配付します。
参考書	特にありません。



教科書	
参考書	授業中に紹介する。



科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	ビジネスリサーチ演習					
担当教員	崔 童殷					
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数 2.0
授業のテーマ	消費者の心を数字で分析する					
授業の概要	新商品の企画及び提案のためには、消費者が求めている商品に関して正しく分析できる力が必要である。そのためには消費者の商品を購入する購買行動に関する調査を正しく行う知識と、調査の結果を正しく理解できる知識得ることが欠かせない。 ビジネスリサーチ演習では、消費者調査の方法を理解し、調査データのまとめと調査の結果の考察のための統計処理の知識を学習する。					
到達目標	あいまいな人の意識や考え方などを数字で表すことができるようになる。					
授業計画	1. オリエンテーションおよび全体の授業の流れの説明 2. 消費者調査の必要性と目的 3. 消費者調査の方法 4. アンケート用紙の作り方 5. 演習I - 調査テーマと背景および目的の決定 6. 演習II - 調査計画を立てる 7. 演習III - アンケート用紙づくり① 8. 演習III - アンケート用紙づくり② 9. 演習IV - アンケート集計①(基礎-仮説と検定) 10. 演習IV - アンケート集計②(単純集計) 11. 演習IV - アンケート集計③(クロス集計) 12. 演習IV - アンケート集計④(複数回答) 13. 演習IV - アンケート集計⑤(順位法) 14. 演習五 - 調査結果の分析およびまとめ方① 15. 演習五一まとめと発表					
授業外における学習(準備学習の内容)	パソコンで専用ソフトを使って行う授業なので欠席をすることでついてこれない内容が生じる場合がありますのでできれば出席に心懸けること。					
授業方法	消費者調査に関する例題を細かく専門ソフトを使って演習する					
評価基準と評価方法	レポート40% - 2回, 発表60% - 2回					
教科書	新版 消費者調査法 社団法人 日本衣料管理協会 平成16年					
参考書	プリント資料					







科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	ファッショングCGスタイル画演習／ファッショングプレゼンテーション演習I					
担当教員	崔 童殷					
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数 2.0
授業のテーマ	ファッショングを描く					
授業の概要	デザインはインスピレーションにあふれるスース（例えばファインアート、身近な建物、インド文化、住み慣れた自宅見慣れた自然など身近なアイテム）があればほとんどのものからでも展開できます。このように魅力的なデザインアイディアの展開方法を学び、フォトフォリオ制作技法及びファッショングデザイン画を描く際のテクニックについて詳しく学びます。さらに、イメージリテラシーI（デザインスキル）授業で習ったデザイン画の基礎に基づいて、コンピューターのデザインソフトであるIllustratorやPhotoshopの使い方を学び、コンピューターグラフィックでファッショングデザイン画を完成する方法を学習する。					
到達目標	フォトフォリオ制作の技法を学べる。 PhotoshopやIllustratorのデザインツールを使いこなせる。 コンピューターデザインソフトを用いてファッショングデザイン画がかける。					
授業計画	1. オリエンテーション「方針・進め方の説明—トレンド分析、フォトフォリオ制作」 2. フォトフォリオ制作のための基本要素の理解 3. ファッショングデザイン画について説明 4. ハンガーラストについて説明 5. Illustrator CS3の使い方およびペンツールの基本操作説明 6. Illustrator CSによる3パスの編集や色の編集 7. Illustrator CSによるテキスタイル（柄）の作成と合成（クリッピングマスク方法） 8. Illustrator CSによるレイヤー説明 9. Illustrator CSによる作品制作 I 10. Photoshopの特徴や基本操作説明 11. Photoshopによるテキスタイル（柄）の合成 12. Photoshopによるレイヤーマスクおよび画像モードを使った合成 13. Photoshopによる素材感描く方 14. Photoshopによる作品制作 II 15. 作品発表および評価					
授業外における学習（準備学習の内容）	Illustrator CS、Photoshopテクニックについて学習する					
授業方法	パソコンを使った説明と演習					
評価基準と評価方法	作品提出（50%）、レポート（20%）、発表（30%）を加味する。					
教科書	プリントを配布します。					
参考書	授業中に紹介。					

科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	ファッショングCGスタイル画演習／ファッショングプレゼンテーション演習I					
担当教員	崔 童殷					
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜5	配当学年	2	単位数 2.0
授業のテーマ	ファッショングを描く					
授業の概要	デザインはインスピレーションにあふれるスース（例えばファインアート、身近な建物、インド文化、住み慣れた自宅見慣れた自然など身近なアイテム）があればほとんどのものからでも展開できます。このように魅力的なデザインアイディアの展開方法を学び、フォトフォリオ制作技法及びファッショングデザイン画を描く際のテクニックについて詳しく学びます。さらに、イメージリテラシーI（デザインスキル）授業で習ったデザイン画の基礎に基づいて、コンピューターのデザインソフトであるIllustratorやPhotoshopの使い方を学び、コンピューターグラフィックでファッショングデザイン画を完成する方法を学習する。					
到達目標	フォトフォリオ制作の技法を学べる。 PhotoshopやIllustratorのデザインツールを使いこなせる。 コンピューターデザインソフトを用いてファッショングデザイン画がかける。					
授業計画	1. オリエンテーション「方針・進め方の説明—トレンド分析、フォトフォリオ制作」 2. フォトフォリオ制作のための基本要素の理解 3. ファッショングデザイン画について説明 4. ハンガーラストについて説明 5. Illustrator CS3の使い方およびペンツールの基本操作説明 6. Illustrator CSによる3Dの編集や色の編集 7. Illustrator CSによるテキスタイル（柄）の作成と合成（クリピングマスク方法） 8. Illustrator CSによるレイヤー説明 9. Illustrator CSによる作品制作I 10. Photoshopの特徴や基本操作説明 11. Photoshopによるテキスタイル（柄）の合成 12. Photoshopによるレイヤーマスクおよび画像モードを使った合成 13. Photoshopによる素材感描く方 14. Photoshopによる作品制作II 15. 作品発表および評価					
授業外における学習（準備学習の内容）	Illustrator CS、Photoshopテクニックについて学習する					
授業方法	パソコンを使った説明と演習					
評価基準と評価方法	作品提出（50%）、レポート（20%）、発表（30%）を加味する。					
教科書	プリントを配布します。					
参考書	授業中に紹介。					

科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	ファッショングイメージ論					
担当教員	朝倉 三枝					
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3	単位数 2.0
授業のテーマ	メディアを通してみるファッショングイメージ					
授業の概要	この授業では、新しく生まれたファッショングがどのように伝達され、新しい潮流を生み出してきたのか、その歴史的変遷を“メディア”という観点からとらえ直す。そのなかで、新聞・雑誌、映画、テレビ、写真、インターネットなど、さまざまなメディアの持つ特質や、それに携わるアーティストや編集者などが果たす役割、さらにファッショング・リーダーとして注目を集める女優やモデルの担う意味などについて考える。					
到達目標	今日、私たちが日常的に目にするファッショングイメージの歴史的変遷を理解し、その分析を行えるようにする。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. ファッショング雑誌のはじまり</li> <li>3. ファッショング写真家の登場</li> <li>4. アール・デコ期のファッショング・イラストレーション</li> <li>5. マネキン人形とディスプレイ</li> <li>6. シネマ・ファッショング①アメリカ</li> <li>7. シネマ・ファッショング②フランス</li> <li>8. ファッショング写真の黄金期</li> <li>9. ファッショング誌の編集長①1940-60年代</li> <li>10. ファッショング誌の編集長②1970年代～現代</li> <li>11. スーパーモデル・ブーム</li> <li>12. ブランドと広告</li> <li>13. 街角スナップ</li> <li>14. インターネット時代のファッショングイメージ</li> <li>15. まとめと試験</li> </ol>					
授業外における学習（準備学習の内容）	雑誌やテレビ、インターネットなどを通して、普段から意識的にファッショングイメージに触れるようにしてください。					
授業方法	講義。毎回、パワーポイントやDVDなど、図像・映像資料も活用する。					
評価基準と評価方法	授業中の小レポート（50%）、学期末試験（50%）。欠席は減点とする。					
教科書	特に指定しない。毎回、プリントを配布する。					
参考書	授業中に適宜、紹介する。					





評価基準と評価方法	レポート(70%)、小レポート(30%)
教科書	深井晃子著 『ファッショングの世紀 共振する20世紀のファッショングとアート』 平凡社
参考書	深井晃子編著 『世界服飾史』 美術出版社





参考書	文化出版局、「誌上・パターン塾 vol.2スカート編」ISBN978-4-579-07345-0
-----	--







参考書	織研新聞、様々なファッション雑誌
-----	------------------



参考書	織研新聞、様々なファッション雑誌
-----	------------------



参考書	織研新聞、様々なファッション雑誌
-----	------------------



参考書	織研新聞、様々なファッション雑誌
-----	------------------















授業外における学習（準備学習の内容）	森羅万象に興味をもってください。日常生活において、こころを虚しくしてものを眺めたり、ときには注視したりする習慣を身につけてください。こういう問題に関しては学外に素晴らしい教材があります。話を聞いてほしいひともたくさんあります。ゲストスピーカーという制度があって、呼んだらいいのですが、手続きが煩雑で。なかなか呼べません。この場をかりておわびします。ついでに言っておきますが、こういうわけですから、ゲストスピーカーを呼んでいる教員はとても熱心な教員なので、みなさんもそう思ってください。拍手を送りたいと思います。したがって、わたしは町の活動家を呼びませんが、学習の準備として新聞などでのまちづくり運動の記事などをよく読んでください。
授業方法	「授業のテーマ」で述べたとおりの講義です。
評価基準と評価方法	おおむね9割を提出物で採点する。授業への参加の積極性を加味することもある。積極性の加点0点なら提出物100点満点で、積極性の加点5点なら提出物95点満点で、積極性の加点10点なら提出物90点満点で、積極性の加点15点なら提出物85点満点で、積極性の加点20点なら提出物80点満点で採点するということです。わたしの評価は甘いといわれている。つまりこの点では優しい。「優しい教師はいい加減な教師である」（「マーフィの法則」より）。
教科書	図解住居学編集委員会編（彰国社）『図解住居学 1 住まいと生活』、2年次以降の「景観論」「建築計画学」でも使います。
参考書	授業中に紹介します。

科目区分	ファッショング・ハウジングデザイン学科専門教育科目					
科目名	ライフスタイル論					
担当教員	徳山 孝子					
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数 2.0
授業のテーマ	生活文化を軸としてライフスタイルを考える。					
授業の概要	ファッショングおよびハウジングデザインは個人や家族の生活様式、ライフスタイルと密接な関係にある。戦後の経済発展とライフスタイルの多様化・個性化、モノからこころへの価値観の変化とライフスタイル、レジャー・スポーツと衣食住、生活創造産業とライフスタイル・マーケティング、少子化・高齢化時代のライフスタイル、健康福祉とライフスタイル、エコロジーと省資源・省エネルギーとライフスタイルなどの観点からライフスタイルについて考える。					
到達目標	1) 私のライフスタイルが説明できる。 2) 図表を読み取り、ファミリーライフサイクルの図が作れる。 3) ライフスタイルのファッショング計画が作れる。 4) アンケート調査の留意点が列挙できる。					
授業計画	1. オリエンテーション 課題テーマ、方針・進め方の説明 2. ライフスタイルとは何か? 3. ライフスタイル①：TP0と購買行動 4. ライフスタイル②：パーソナルカラー 5. ライフスタイル③：ワードローブチェック 6. 家族周期と私のライフスタイル 7. 家庭生活と家族Ⅰ 一家庭と家族のあり方の変化— 8. 家庭生活と家族Ⅱ 一女性のライフスタイルの変化— 9. ライフデザイン（生活設計）とその考え方 10. 世代によって異なるライフデザイン 11. 生活時間の管理・労働・余暇 12. 雑誌から読み取るライフスタイル 13. ライフスタイルとファッショング計画 14. ライフスタイルの社会調査 15. アンケートの留意点、最後に試験					
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習は、授業内で説明する。 授業後学習は、学んだ内容を整理し、要点をまとめる。理解できなかった内容は、次の授業で質問する。授業中にできなかつた課題は完成させる。					
授業方法	講義と演習。プリントを配布する。そのプリントに添って講義する中で、画像を使って確認をしながら進める。					
評価基準と評価方法	定期試験50%、提出物50%					
教科書	プリントを配布する。					
参考書	授業中に紹介する。					